

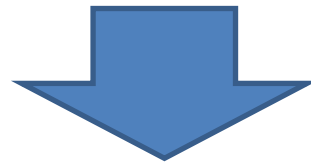


FX会社比較調査報告



調査対象と調査内容

以下の今注目されるFX会社6社を対象に口座開設をし
約定力及びユーザビリティの比較テストを行いました。



外為オンライン
クリック証券
サイバーエージェント
FX

フォレックス・ドットコム
DMMFX
インヴァスト証券



調査の概要

2010年2月26日(金)にFX会社で本口座での比較テストをおこないました。
 今回のテストは、大きな値動きのある中でおこなう事ができたので、FX会社本来のポテンシャルを現実的に知る事が出来たのではないかと思います。
 業者の選定基準と致しましては、取引システムの違う6社で選びました。
 (ネオFX系:3社・海外系:1社・取引所取引:1社)

今回、本口座を開設し比較をおこなった理由は、FX業界内の差別化が高レバレッジ→低スプレット→スリッページなしと変化していく現状で、デモ環境ではわからない取引コストに影響のある約定力と使い心地をできるだけ同じ条件の元、実感して明らかにしたかったためです。

テスト内容といたしましては、約定力及び約定にかかる時間やレート更新頻度といった客観的な定量分析テストと、取引画面の見た目や使用感といった主観的なテストの両方をおこないました。

客観的定量分析は比較的マーケットの動きが少ない日本時間の午後2時、マーケットが活発に動き始めるロンドンオープンにあたる午後4時半、経済指標の発表も多くNYオープンにあたる午後10時半の3つの時間帯でおこないました。これは、時間帯によって注文集中による取引業者のサーバー負荷に差がでる事を考慮して、マーケットが落ち着いている時間帯と動きの多い時間帯とでテストをおこない、より実際の取引をおこなう利用者に近い目線での調査結果を得ることができたと思います。

◆テスト環境

PC
 Panasonic Let's NoteW5
 OS
 Windows XP

◆通信環境

光回線
 100Mbpsベストエフォート

◆注文条件

ドル円のみ
 1枚(10,000通貨)
 新規・決済の両方とも調査

レート更新について

◆60秒間のレート更新回数

レート更新頻度はロンドン時間に入って、取引が活発化する18時から3回テストをおこないました。

取引が多い時間ではありましたが、比較的値動きがおとなしかったためにそれほど多くはありませんでしたが、値動きと共に徐々に増えてきたという印象です。

	1回目	2回目	3回目
外為オンライン	4回	4回	1 2回
フォレックス・ドットコム	12回	1 9回	2 9回
クリック証券	10回	1 3回	2 2回
DMMFX	12回	1 9回	2 9回
サイバー エージェントFX	11回	2 5回	3 1回
インヴァスト証券	8回	6回	1 1回

■レート更新の総評

今回のテストにピックアップした業者の中で、外為オンラインとくりっく365のインヴァスト証券が、レート表示が小数点以下2桁表示であったため、他社と比較すると更新回数が少なくなったのだと思います。

また、小数点以下3桁表示の業者は頻度が多く、少ない幅を何度も取るトレーダーには嬉しいと思います。以前いわれていたような、歩みの恣意的な動きも、今回のテストでは感じることはありませんでした。

更新回数は各社のシステムがリアル更新しているものと、定期更新しているものがあり、今回の調査ではそれらを線引きすることなく計測しております。

チャート更新について

◆60秒間のチャート更新回数

チャートの更新頻度テストは、複数のチャートを提供している業者はテクニカル機能等が搭載されていないチャートのティックを使って、18:20からおこないました。更新のタイプがリアル更新と定期更新の2種類に分類でき、レート更新をそのまま反映する業者とそうでない業者がわかりました。

	更新タイプ	回数
外為オンライン	定期更新	3 1回
フォレックス・ドットコム	リアル更新	4 7回
クリック証券	リアル更新	1 7回
DMMFX	リアル更新	4 0回
サイバー エージェントFX	定期更新	3 1回
インヴァスト証券	リアル更新	1 1回

■チャート更新の総評

チャートの更新は新しいティックが出る毎に描画されるリアル更新と、設定された時間毎に更新される定期更新のものが、リアル更新は毎ティックが全て更新されますが、通信負荷は大きくなります。また定期更新は更新時間の中にレート更新があっても描画されないというリスクがあります。

テクニカルチャートや高機能チャートと言われるチャートではユーザビリティをかなり気にしていると感じる業者さんでも、ティックチャートにはあまり力を入れていない感じがします。レート更新をそのまま反映しなかったり、色合いを見やすいものにしたところ、もう少し考えて欲しいと感じました。

ユーザーインターフェースについて

ユーザーインターフェイス(UI)とはお客様が取引をする為にFX会社がお客様向けに提供している取引システムのことで、今回の調査対象としたFX会社のUIには2種類のものがありました。

DL型	<p>トレードソフトをFX会社からダウンロードしてお客様のPCにインストールして取引に使用するリッチクライアントのユーザーインターフェース。 Webブラウザの取引システムでは実現が困難な操作性の良さと、通信に係る負担が軽く、スムーズなレート更新や評価損益の再計算を実現している。</p>
WEB型 (Flash)	<p>通常のインターネットエクスプローラ等のWebブラウザを利用したユーザーインターフェース。数年前まで主流であったJavaScriptと比べて最近ではAJAXを使用するなど表現の自由度も高く、ソフトのインストールが不要なく、普段利用しているブラウザの機能で動作するので顧客側のPC環境を選ばない。</p>

体感と総評

外為オンライン UI:WEB型

体感	<p>オールインワン画面レイアウトが見やすく、一画面で全ての情報を確認できる。 約定までは2クリックとアクションが多い。 直感的に使い、初めての人でも分かりやすいと感じた。</p>
総評	<p>約定力は総体的に良かったが、最近のFX業者のトレードシステムに慣れてしまうと約定スピードは今回の調査の中では一番遅かった。 レートは小数点以下2桁であることもあり、他社と比べると更新頻度は少ない。トレードに不慣れなトレーダーには安心して使えるというメリットはありそうだが、一世代前のシステムという印象がある。 トレードから照会までが一画面でおこなえるので、画面表示については洗練されているが、トレードの際のアクションが多く、短期売買を主体とするとロスが多い。</p>

フォレックス・ドットコム UI:DL型

<p>体感</p>	<p>画面カスタマイズができるので使いやすくてできる。 ファーストインファーストアウト※やポジションの表示の仕方が、国内業者と違うので慣れが必要。 注文までのアクションが少なくて済む。 約定が早い上に、スリップが少ない。 指値入力画面がシンプルで使いやすい。 約定を音声で知らせてくれるので、指値等の成立がわかりやすい。</p>
<p>総評</p>	<p>レートが小数点以下3桁で更新頻度も高い。又 注文が弾かれる事がなく、約定率は比較対象6社の中で一番高い結果となった。 約定したものがポジション照会へ即反映される等、画面全体の動きが早い。 ポジションの表示もネット表示となっているため、国内業者のシステムに慣れたユーザーには最初は戸惑うかもしれない。 ただ、全ての時間において約定力が1番高くスリップも全くなかった。誰にでも安心感が高い上に、ワンクリック注文で発注アクションが少ないので、デイトレーダーにも満足度は高いと感じる。</p>

※ファーストインファーストアウト

成立した日時の古いものから決済していく方法。新規と決済という概念がなく、1万ドルの買いポジションを持った後、2万ドルの売り注文をおこなうと1万ドルの買いポジションが決済され、1万ドルの売りポジションを持つことになる。

クリック証券 UI:DL型

<p>体感</p>	<p>「スピード注文」というワンクリック注文が早すぎて、ノートパソコンのトラックパッドでは気がつかないうちにクリックしてしまう事があり、初心者にはオーダーミスが怖い。レートが活発に動いているためか、スリッページ許容範囲をゼロにすると、値動きが活発な時は約定しない。</p>
<p>総評</p>	<p>約定速度については抜群のスピード。約定履歴等の照会画面への反映も早い。使用感や約定スピード等から見ると、中級～上級者には喜ばれそうではあるが、トレードに不慣れな初心者の中には、速さに及び腰になる人も多いかもかもしれない。約定力については、今回の調査で一番悪かった。ある程度のスリッページを許容すればよい事かもしれない。許容範囲をゼロにした場合、最大185回リジェクトされ続け、全く成立しなくなる。指標発表などで大きくマーケットが動いている時に不安を感じる。素早くポジションを取る場合にはそのためのスリッページの設定が必要。</p>

サイバーエージェントFX UI:WEB型

<p>体感</p>	<p>約定までのアクションが多く、決済注文は出しにくい。 レート更新の際にレート表示枠が点灯する時としない時がある。 タブブラウザでは使いにくい。</p>
<p>総評</p>	<p>ブラウザでの検証にも係らず、約定速度は速い。 取引画面全体の遷移もスムーズでストレスを感じない。 ただ、タブブラウザでレート一覧をクリックして新規注文をしようとする、新しいタブが開き画面が見つらなくなる場合がある。 今回の検証ではストップロス(逆指値)注文でのスリッページが最も大きかった。また、成行でのリジェクトは通常ではほとんど発生しないが、一度リジェクトされると頻発する傾向にある。 今回の検証とは関係ないが、現受け取引があるのは面白い。</p>

※タブブラウザ

タブブラウザとは、**タブ**を使うことで複数のWebページを切り替えて閲覧できる方式のWebブラウザ。Internet Explorer8など

※リジェクト

成行注文やストリーミング注文の際に成立せず、注文が失効すること。

※現受け

買いポジションを持った場合に差金決済せず、ポジションを持つ為に必要な証拠金とポジションの丸代金との差額を差し入れることで、外貨を受け取る事ができる。

DMMFX UI:WEB型

<p>体感</p>	<p>スプレッドが狭く、ほとんど広がらないので売買しやすい。 注文履歴が自動更新しないため不便だ。 ただ、表示している取引の損益合計がでるので見やすい。 画面設定である程度の設定ができるのはよいが、初期設定されている画面が使いにくい。</p>
<p>総評</p>	<p>約定力については強く、トレードもスムーズにおこなわれると感じる。 レートは指標が続けて発表された際も固定されていたが、他社と比べると2pips程度の乖離がある事が多く、レートが大きく動いた時の動きだしが少し鈍い。 画面設定である程度利用者の好みに合わせたレイアウトや注文の流れをつくれるので、慣れれば使いやすい取引画面だと思うが、レイアウト変更等についての使い方の説明は乏しく不満が残る。 また、高機能チャートは表示されるまでにかかなりの時間がかかり、次回から使うのをためらう程表示が遅い。 使い始めれば便利で見やすいが、こちらも初期設定されているチャートは見づらい。</p>

インヴァスト証券 UI:DL型

体感	<p>画面操作がしやすく、カスタマイズもできるのが良い。 約定までのアクションが少ない。 照会画面が自動更新で見やすい。 OTC業者と比べるとレートの変動が悪い時が見られる。</p>
総評	<p>今回唯一の取引所取引(くりっく365) ワンクリックでは約定まで至らないが、アクションが少なく、成立時に注文内容の通知 ウィンドウが表示されるので安心感がある。 小数点以下2桁であるためレートの更新頻度は少なく、OTC業者と比較するとレートの 動きだしが遅い。 ストリーミング注文ではスリッページの設定がないため、注文時にレートが変動するとリ ジェクトされる。 余程の値動きでない限りリジェクトはされない感じだが、必ず約定させたい時は成行注 文を使う方がよいのかもしれない。</p>

比較表



		約定速度 平均	スリッページ		リジェクト回数	基準時間レート	ストップロス スリッページ			
			最小	最大						
外為オンライン	14:00	2.09	最小0.0pips	最大0.0pips	0	89.24-25	17:50	0.000pips		
	14:30	2.55	最小0.0pips	最大0.0pips	0		23:45	0.000pips		
	15:00	2.66	最小0.0pips	最大0.0pips	2	89.25-26				
	16:30	2.43	最小0.0pips	最大0.0pips	1					
	17:00	2.34	最小0.0pips	最大0.1pips	0					
	17:30	2.66	最小0.0pips	最大0.0pips	0	89.29-30				
	22:30	2.70	最小0.0pips	最大0.1pips	0					
	23:00	2.78	最小0.0pips	最大0.0pips	0					
	23:30	2.74	最小0.0pips	最大0.0pips	1	合計	2.55	最小0.0pips	最大0.1pips	4
フォレックス・ドットコム	14:00	1.50	最小0.0pips	最大0.0pips	0	89.252-262	17:50	0pips		
	14:30	1.18	最小0.0pips	最大0.0pips	0		23:45	0.00pips		
	15:00	1.33	最小0.0pips	最大0.0pips	0	89.342-352				
	16:30	1.25	最小0.0pips	最大0.0pips	0					
	17:00	1.13	最小0.0pips	最大0.0pips	0					
	17:30	1.21	最小0.0pips	最大0.0pips	0	89.105-115				
	22:30	1.35	最小0.0pips	最大0.0pips	0					
	23:00	1.14	最小0.0pips	最大0.0pips	0					
	23:30	1.11	最小0.0pips	最大0.0pips	0	合計	1.24	最小0.0pips	最大0.0pips	0
クリック証券	14:00	0.70	最小0.0pips	最大0.2pips	0	89.251-255	17:50	0.000pips		
	14:30	0.72	最小0.0pips	最大0.3pips	0		23:45	0.006pips		
	15:00	0.75	最小0.0pips	最大0.3pips	0	89.361-359				
	16:30	0.57	最小0.0pips	最大0.0pips	0					
	17:00	0.59	最小0.0pips	最大0.3pips	1					
	17:30	0.56	最小0.0pips	最大0.0pips	3	89.105-115				
	22:30	0.92	最小0.0pips	最大0.1pips	15					
	23:00	0.72	最小0.0pips	最大0.2pips	67					
	23:30	0.91	最小0.0pips	最大0.0pips	185	合計	0.71	最小0.0pips	最大0.3pips	271

		約定速度 平均	スリッページ		リジェクト回数	基準時間レート	ストップロス スリッページ	
			最小	最大				
DMM	14:00	1.23	最小0.0pips	最大0.4pips	0	89.251-256	17:50	0pips
	14:30	1.31	最小0.0pips	最大0.0pips	0		23:45	0.001pips
	15:00	1.39	最小0.0pips	最大0.0pips	0			
	16:30	1.20	最小0.0pips	最大0.2pips	1	89.352-357		
	17:00	1.11	最小0.0pips	最大0.2pips	0			
	17:30	1.41	最小0.0pips	最大0.0pips	1			
	22:30	1.05	最小0.2pips	最大0.3pips	1	89.146-151		
	23:00	0.99	最小0.0pips	最大0.3pips	3			
	23:30	1.02	最小0.0pips	最大0.0pips	0			
	合計	1.19	最小0.0pips	最大0.4pips	6			
サイバーエージェントFX	14:00	1.56	最小0.0pips	最大0.2pips	0	89.252-262	17:50	0.003pips
	14:30	1.83	最小0.0pips	最大0.0pips	6		23:45	0.007pips
	15:00	1.72	最小0.0pips	最大0.0pips	0			
	16:30	1.61	最小0.0pips	最大0.2pips	0	89.342-352		
	17:00	1.72	最小0.0pips	最大0.2pips	0			
	17:30	1.51	最小0.0pips	最大0.0pips	0			
	22:30	1.65	最小0.0pips	最大0.2pips	0	89.105-115		
	23:00	1.55	最小0.0pips	最大0.0pips	3			
	23:30	1.57	最小0.0pips	最大0.2pips	4			
	合計	1.63	最小0.0pips	最大0.2pips	13			
インヴァスト証券	14:00	1.42	最小0.0pips	最大0.0pips	0	89.10-12	17:50	0.000pips
	14:30	1.63	最小0.0pips	最大0.0pips	0		23:45	0.000pips
	15:00	1.22	最小0.0pips	最大0.0pips	3			
	16:30	1.48	最小0.0pips	最大0.0pips	3	89.28-30		
	17:00	1.43	最小0.0pips	最大0.0pips	0			
	17:30	1.82	最小0.0pips	最大0.0pips	0			
	22:30	1.66	最小0.0pips	最大0.0pips	2	89.21-23		
	23:00	1.51	最小0.0pips	最大0.0pips	1			
	23:30	1.55	最小0.0pips	最大0.0pips	1			
	合計	1.52	最小0.0pips	最大0.0pips	10			

総合評価

■ 定量分析

○ 約定率

ドル円で1回あたり1万ドルの取引を合計27回で約定調査を実施した。約定率については100%でリジェクトが0回のフォレックス・コムが1位であった。米国の取引システムで数々のアワードを受賞した実績があるだけに立派な数値である。2位は外為オンラインでリジェクト回数は4回にとどまり安定感を見せた。3位はDMM証券で7回。4位はインヴァスト証券で10回。5位はサイバーエージェントFX13回。6位のクリック証券は271回で圧倒的に悪い結果となった。リジェクトされる前兆としてはやはり値段が動きだすと各社同様に悪化する傾向がある。約定率が悪化する時間帯としてはNYオープン時が一番悪く次いでロンドン時間であった。一概に時間帯でリジェクトが多くなるとはいえないがひとつの傾向として認識しておいてもよいだろう。全時間帯を通じて安心感が高いのはフォレックス・コムを筆頭に外為オンラインだろう。気になる点としては唯一のくりっく365であるインヴァスト証券である。公正で有利な約定を売りにしている割には今一つの約定率に感るユーザーが多いただろう。広告露出にポテンシャルが比例していないことが理由だろう。レートを少数点以下3桁表示をしているFX会社はNYオープン等の流動性が高くなる時間帯は、レート更新頻度が高くなり、結果として発注の際のレートが約定の際にはスリップする為にリジェクトしたと考えられる。

今回の調査では人気企業を中心に調査したが、一般的なユーザーの感覚としては約定率は8割以上でないと安心して使用できないのではなかろうか。この基準で考えると及第点はフォレックス・コムと外為オンラインだけということになるだろう。もっとも悪かったクリック証券については、取引環境としては疑問を持たざる得ない状況だ。たまたま調査日当日だけが約定しなかったということも考えられるが約定率云々ではなくもはや障害？と思える状況であった。

総合評価

○スリッページ

今回の調査では、スリッページ許容度を9pipsか無制限に設定した。

数値設定の違いはシステムの違いによる。※インヴァスト証券はストリーミング注文で実験したのでスリッページ設定はない。

もっともスリッページが少ない順からあげると1位は同率でフォレクス・コムとインヴァスト証券。ここでも米国システムの最先端取引システムが一度もスリップしないという好成績をあげた。インヴァスト証券は取引所取引の公正さを立証した結果となった。ただし、スリップしない代わりにリジェクトする設定になっているために実質は2位以下の実力といえるだろう。当日のリジェクトが10回だったことを考慮すると10回スリップしている可能性がある。3位は外為オンラインだが一時期すべりまくると言われたネオFXの代表格である外為オンラインが思いのほか安定的な結果をみせた。システムが改善された結果かもしれない。

4位サイバーエージェント。5位は同率でクリック証券とDMM証券であった。今回の調査での最大スリッページは0.4pipを出したDMM証券だ。前提として下3けた表示のシステムでは下2桁表示のシステムより細かくレート変動すること設定としていることが予測され、下3桁表示のシステムのほうがスリッページする可能性は高い傾向にあるようだ。実験ではスリップする際には0.1pipsという最少刻み値でスリップするより0.2~0.3pipとスリップする傾向が見られた。スリッページが発生しやすい時間帯としてはNY時間に比較的多く見受けられたが、この時間帯は市場参加者がもっとも多くなり流動性が大きくなる半面、値動きがおおきくなる傾向があるので予想通りといえよう。

総合評価

○ストップロスのスリッページ

全社同様の時間に同レートストップロスを設定してロンドンとNY時間で合計2回実施した。この指定したレートからどの程度スリッページするか実験した。

全くスリッページしなかったのが、フォレックス・コムと外為オンラインとインヴァスト証券。この3社が同率で1位となった。指定通りのレートで約定することは信用の証だろう。DMM証券は1回だけ0.1pipsスリッページした。クリック証券は1回だけ0.6pipsスリッページした。ワースト結果になったのがサイバーエージェントFXで2回ともスリッページしたうえにスリッページ幅も最大の0.7pipsと大幅であった。

○約定スピード

まったく同一の取引環境で同じストップウオッチで同時に注文してスピードを計測した。

計測方法はスタート同時に約定画面が現れた瞬間を計測した。

スピードがもっとも早かったのはクリック証券。圧倒的なスピード感をもつ実験結果だった。2位のDMM証券と3位のフォレックス・コムはほぼ互角。上位3社は1秒未満から1秒前後のスピードを持つ点で素晴らしい。ただし実験する人間の運動神経を考慮するストップウオッチでの計測精度に限界を感じる。ここ1年でスピードについては各社大幅に進歩していると感じた。4位はインヴァスト証券。5位はサイバーエージェントFX。6位の外為オンラインは平均2秒以上かかると他社の倍程度と際立つ遅さだった。デイトレーダーやスキャルパーの中にはミリセックのスピードを追求する向きもあるが、1秒未満の注文については人為的な差異が大きいことを考慮したい。

総合評価

■ 定性分析

ユーザビリティとしてはALLインワン画面の外為オンラインやフォレックス・コムが直感的に操作を行いやすく値段から約定情報もふくめて一画面で見ることができて初心者にも分かりやすいと言えそうだ。DMM証券の画面も後発のWEBのリッチ型システムでブラウザーで多機能、カスタマイズができる点で魅力的といえるだろう。使いこなすほどに便利になるシステムだ。インヴァスト証券はクリック365だがリッチ型の専用取引システムをもっておりスピード感や使い勝手も良いものとなっている。これまでのクリック365のイメージを払しょくする進歩でネオFX会社に劣らない魅力的なパッケージになっている。サイバーエージェントはタブブラウザー式でウインドウが複数同時に立ち上がるので慣れるまで使いづらい点と操作性と迅速性にやや欠ける。チャートについては最終的には好みの問題である。しかし描画も定時更新式とリアル更新式があるのだが、運用手法にスキャルピングをもちいる人ほどリアル更新式にメリットを感じると思われる。自分が使っているチャートがどのようなロジックで更新されているか知っておくことは有益だ。

注文するまでの操作性も各社改良しているようだ、注文までのステップを減らす努力をおこなっている最先端としてはワンクリック注文を採用しているフォレックス・コム、クリック証券、DMM証券は素早い操作性が魅力だが、オーバーマウスで誤発注なんてことも実験の最中に数回見られたので初心者は注意して使いたい。